第5章

その他の機能

この章では、画像管理ソフト「ImageTouch」の起動フォルダの設定、他のアプリケーションの利用方法など便利な機能について説明します。

ImageTouchの起動フォルダを設定する

ImageTouchを開いたときに最初に表示するフォルダを設定します。

ImageTouchのメインウィンドウとサブウィンドウの起動フォルダをそれぞれ設定できます。

起動フォルダを設定しておくと、ImageTouch起動時に指定のフォルダを開くことができます。

ImageTouchを起動した状態から操作します。

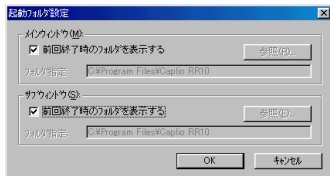
P.17「ImageTouchを起動する」

1 ［ファイル］から［起動フォルダ設定］を選択する

P.107「サムネイル一覧画面のメニュー」

［起動フォルダ設定］ダイアログが表示されます。

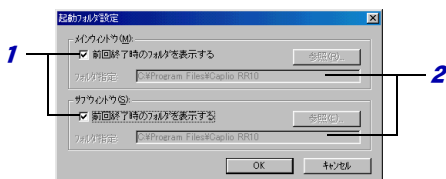
2 メインウィンドウ、サブウィンドウの起動フォルダをそれぞれ設定する

フォルダ指定をする場合、［参照］を選択すると、フォルダの選択ダイアログからフォルダを選択できます。

P.84「起動フォルダ設定ダイアログ」

3 ［OK］を選択する

設定したフォルダが起動フォルダとして登録されます。

起動フォルダ設定ダイアログ

メインウィンドウとサブウィンドウの起動フォルダをそれぞれ設定できます。

1 前回終了時のフォルダを表示する

ImageTouch を開いたときに、前回終了時に表示していたフォルダを開きます。

2 フォルダ指定

ImageTouch を開いたときに、表示するフォルダを指定します。［参照］ボタンをクリックすると、フォルダの選択ダイアログからフォルダを選択できます。

表示履歴を設定する

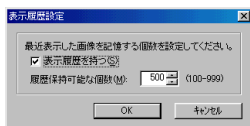
ImageTouch(サムネイル一覧)に最近表示したファイルのサムネイルを記憶する個数を設定します。表示履歴を設定すると、ImageTouch(サムネイル一覧)の再表示を高速にできます。

1 ［ファイル］から［表示履歴設定］を選択する

P.107「サムネイル一覧画面のメニュー」

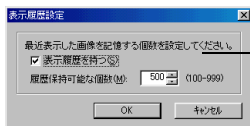
［表示履歴設定］ダイアログが表示されます。

2 「表示履歴を持つ」のチェックボックスをオンにして、最近表示したサムネイルを記憶する個数を設定する

100 ～ 999 までの個数を設定できます。

P.85「表示履歴設定ダイアログ」

3 ［OK］を選択する

設定した個数のサムネイルを記憶します。

表示履歴設定ダイアログ

1 最近表示したファイルのサムネイルを記憶する表示履歴を持ちます。
サムネイルを記憶する個数を 100 ～ 999 の間で設定します。

補足

・記憶する個数を多く設定すると、検索の速度が落ちることがあります。お使いになるパソコンのメモリ容量などを考慮して、記憶する個数を設定してください。

他のアプリケーションを利用する

ImageTouch にアプリケーションを登録しておくと、アイコンバーのアプリケーションアイコンをダブルクリックするだけで登録したアプリケーションを簡単に利用できます。

よく使うソフトを登録する

よく利用するアプリケーションを、ImageTouch のアイコンバーに登録します。

ImageTouch が表示された状態から操作します。

P.19「ImageTouch の画面について」

1 ［ファイル］から［アプリケーションの登録］を選択する

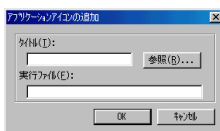
P.107「サムネイル一覧画面のメニュー」

［アプリケーションの登録］ダイアログが表示されます。

2 ［追加］を選択する

登録済みのアプリケーションを変更する場合は、登録済みアプリケーションのタイトルを選択し、［変更］を選択します。

［アプリケーションアイコンの追加］ダイアログが表示されます。

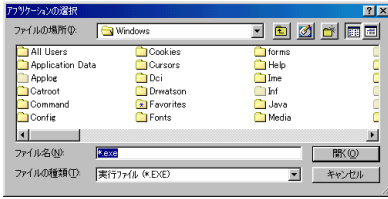
3 ［参照］を選択する

［アプリケーションの選択］ダイアログが表示されます。

重要

・最大 26 個のアプリケーションソフトを登録できます。

補足

・アイコンバー上で右クリックして表示されるショートカットメニューから［アプリケーションの登録］を選択しても、アプリケーションの登録ダイアログが表示されます。
・ImageTouch をインストールすると、「あおり補正」「貼り合わせ」のアプリケーションが自動的に登録されます。
P.90「画像のゆがみを補正する」
P.97「画像を貼り合わせる」

4 登録するアプリケーションを選択し［開く］を選択する

［アプリケーションアイコンの追加］ダイアログにアプリケーションのタイトル名、実行ファイル名が表示されます。

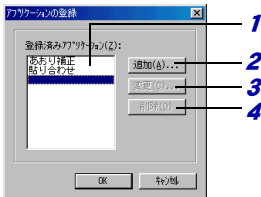
5 ［OK］を選択する

登録するアプリケーション名が「登録済みアプリケーション」に表示されます。

6 ［OK］ボタンを選択する

アイコンバーにアプリケーションが登録されます。

補足

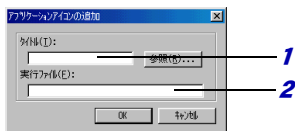
- 「タイトル」は、変更できます。全角で 8 文字まで入力できます。
- アプリケーションの選択ダイアログから選択できるのは、実行形式のファイル（*.EXE）のみです。

アプリケーションの登録ダイアログ

1 登録済みアプリケーション
登録済みのアプリケーションを一覧表示します。

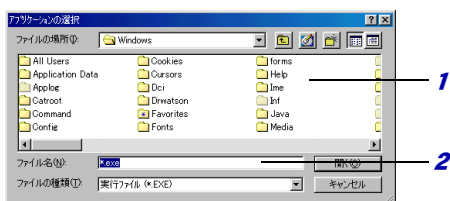
2 追加
新しくアプリケーションを登録します。

3 変更
登録したアプリケーションを別のアプリケーションに変更します。

4 削除
登録したアプリケーションを削除します。

アプリケーションアイコンの追加ダイアログ

1 タイトル
登録するアプリケーションのタイトルと実行ファイルを入力します。

2 参照
アプリケーションの選択ダイアログから、実行ファイルを選択できます。

アプリケーションの選択ダイアログ

1 ファイルの場所
実行ファイル(＊．ＥＸＥ)のある場所を選択します。

2 ファイル名
一覧から登録する実行ファイル（＊．ＥＸＥ）を選択します。

登録したアプリケーションを利用する

重要
・ドラッグ＆ドロップで画像ファイルを渡せるアプリケーションは、OLE2 に対応している必要があります。
・ドラッグ＆ドロップできる画像は 1 ファイルです。(起動するアプリケーションの仕様により異なります。)

登録したアプリケーションのアイコンをダブルクリックするとアプリケーションが起動します。

画像を扱うアプリケーションの場合には、画像ファイルのサムネイルをアプリケーションアイコン上にドラッグ＆ドロップするとアプリケーションが起動し画像ファイルを開きます。

ImageTouch が表示された状態から操作します。

 P.19「ImageTouch の画面について」

1 アイコンバーのアプリケーションアイコンをダブルクリックする

登録されているアプリケーションが起動します。

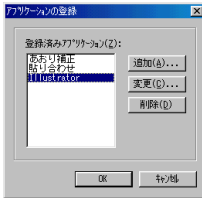
アイコンバーからソフトを削除する

登録したアプリケーションを削除します。

1 ［ファイル］から［アプリケーションの登録］を選択する

P.107「サムネイル一覧画面のメニュー」

［アプリケーションの登録］ダイアログが表示されます。

2 「登録済みアプリケーション」から削除するアプリケーション名を選択し、［削除］を選択する

［アプリケーションアイコンの削除確認］ダイアログが表示されます。

3 ［OK］を選択する

登録したアプリケーションが削除され、［アプリケーションの登録］ダイアログに戻ります。

4 ［OK］を選択して［アプリケーションの登録］ダイアログを閉じる

アイコンバーから登録したアプリケーションが消去されます。

補足

・起動したアプリケーションでの画像ファイルの扱い方については、それぞれのアプリケーションの使用説明書を参照してください。

画像のゆがみを補正する

あおり補正では、遠近によるゆがみ (あおり) を持つ画像を補正し、より見やすくすることができます。
あおり補正には、1 枚の画像に補正情報を指定して行う「1 枚モード」と 2 枚の画像を使って自動で補正を行う「2 枚モード」の 2 種類の方法があります。

補足

・あおり補正で表示できるのは、サムネイル表示されている静止画ファイル（WMF ファイルを除く）です。音声、動画ファイルは編集できません。
・画像の色数が 16 色以下の場合、あおり補正できません。

ゆがみを手動（1 枚モード）で補正する

１枚の画像に対して補正情報（四角形の４点を指定）を入力し、画像変形処理を行い、補正画像を生成します。

サムネイル一覧を表示して操作を始めます。

P.17「ImageTouch を起動する」
P.30「ファイルを選択する」

1 サムネイル一覧からあおり補正したい画像のサムネイルを選択する

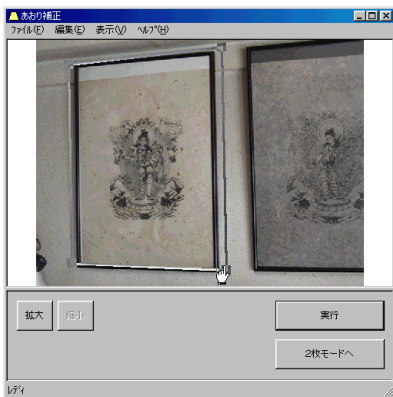
P.19「サムネイル一覧」
P.30「ファイルを選択する」

補足

・あおり補正画面で画像枠を選択し、［ファイル］から［開く］を選択すると、選択した画像が画像枠に表示されます。

2 選択したファイルを あおり補正 上にドラッグする

あおり補正画面に選択した画像が表示され、画像補正の枠（ラバーバンド）が表示されます。

3 枠（ラバーバンド）上の四隅のハンドル（■）をドラッグして、画像の補正の必要な部分に合わせる

補足

・［2 枚モードへ］を選択すると、画像を自動で補正する画面に切り替わります。
・［拡大］を選択すると画像を拡大表示できます。
・［縮小］を選択すると、拡大表示した画像を縮小できます。

4 ［編集］から［背景色設定］を選択し、補正した画像の背景色を選択する

背景色の設定は、あらかじめ黒色が選ばれています。必要に応じて設定してください。

P.92「背景色設定ダイアログ」

5 ［編集］から［オプション］を選択し、撮影に使用したカメラを選択する

ここで撮影に使用したカメラを選択して補正を行うと、カメラの特性に合わせた補正ができます。

P.93「オプションダイアログ」

6 ［実行］を選択する

指定した角度で画像が補正され、補正された画像が表示されます。

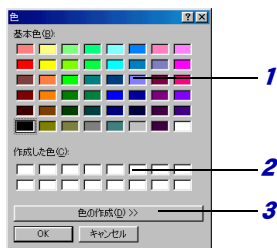
もう一度補正をやりなおしたいときは［戻る］を選択すると補正前の画像に戻すことができます。手順 3 からやりなおしてください。

P.96「補正した画像を保存する」

背景色設定ダイアログ

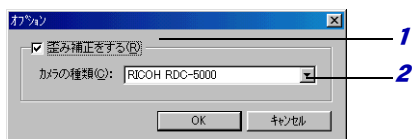
1 背景色

補正した画像に背景の色を付けることができます。［背景色設定］を選択すると、色を選択できます。

色ダイアログ

1 **基本色**
使用できる基本色が表示されます。使用したい色を選択して［OK］を選択すると、［背景色設定］ダイアログの背景色に表示されます。

2 **作成した色**
独自に作成した色が表示されます。

3 **色の作成**
このボタンをクリックすると、右側に色作成のためのカラーマトリックスが表示されます。入力欄やスライダーを使って色を作成します。
作成したい色に近い色を基本色の中から選択してから、［色作成］をクリックすると微調整するだけで簡単に色を作成できます。

オプションダイアログ

1 **歪み補正をする**
この項目を選択すると、カメラの種類が選択できるようになります。選択したカメラの使用レンズの情報にしたがってゆがみ補正を行います。

2 **カメラの種類**
より自然な補正を行うために、使用しているカメラの種類を選択します。選択したカメラの焦点距離、歪曲係数（ゆがみの情報）が設定されます。

ゆがみを自動（2 枚モード）で補正する

2 枚の微妙に異なった画像から、撮影時の被写体に対する角度を計算し、その結果を元に自動で補正した画像を生成します。

サムネイル一覧を表示して操作を始めます。

P.17「ImageTouch を起動する」
P.30「ファイルを選択する」

重 要

・2 枚モードのあおり補正を行うためには、2 枚の微妙に異なる画像が必要です。
・2 枚モードは、2 枚の画像が同一画像サイズでないとできません。画像サイズの異なる画像を指定した場合は、エラーになります。画像サイズは、サムネイル一覧でサムネイルを選択し、[ファイル]から[プロパティ]を選択すると確認できます。
・1 枚モードより 2 枚モードの方が、より自然な補正結果を得ることができますが、完全に補正できるわけではありません。

1 サムネイル一覧からあおり補正したい画像のサムネイルを選択する

2 Shift キーを押しながら、補正の角度計算に使用する画像ファイルのサムネイルを選択する

補足

・あおり補正画面で画像枠を選択して［ファイル］から［開く］を選択し、画像ファイルを指定すると、選択した画像枠内に画像が表示されます。

3 選択したファイルを [あおり補正] 上にドラッグする

あおり補正画面にあおり補正の対象となる画像が表示されます。

4 左側の画像枠に補正したい画像が表示されていることを確認する

補足

・［1 枚モードへ］を選択すると、右側の画像を手動で補正する画面に切り替わります。

補正したい画像が右側の画像枠に表示されている場合は、画像をドラッグ＆ドロップして入れ替えます。

5 ［編集］から［背景色］を選択し、補正した画像の背景色を選択する

背景色の設定は、あらかじめ黒色が選ばれています。必要に応じて設定してください。

P.92「背景色設定ダイアログ」

6 ［編集］から［オプション］を選択し、画像の撮影に使用したカメラを選択する

撮影に使用したカメラを選択して補正を行うと、カメラの特性に合わせた補正ができます。

P.93「オプションダイアログ」

7 ［実行］を選択する

あおり補正が自動で行われ、補正された画像が表示されます。

もう一度補正をやりなおしたいときは［戻る］を選択すると補正前の画像に戻すことができます。手順 5 からやりなおしてください。

P.96「補正した画像を保存する」

補正した画像を保存する

補足
・補正結果の保存形式として指定可能なファイルの種類はBMP、Exif2.1、JPEG、TIFF、PNG 形式です。
・保存した画像の色数はフルカラーとなります。

1 枚モードのあおり補正、または 2 枚モードのあおり補正で補正した画像を保存します。

あおり補正画面に補正した画像が表示された状態から、説明します。

P.94「ゆがみを自動（2 枚モード）で補正する」
P.90「ゆがみを手動（1 枚モード）で補正する」

1 画像の一部分を切り取って保存したい場合は［領域］を選択する

画像の全体を保存したいときは、この操作は不要です。手順 3 へ進んでください。

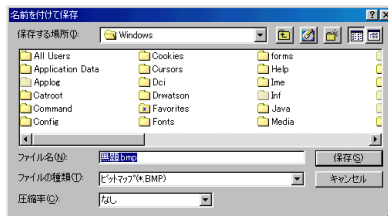
補足
・［拡大］を選択すると、画像を拡大できます。拡大した画像を元に戻すには［縮小］を選択します。
・［左回転］［右回転］を選択すると、画像を回転できます。

2 枠（ラバーバンド）のハンドル（■）をドラッグして保存したい部分を選択する

3 ［保存］を選択する

［名前を付けて保存］ダイアログが表示されます。

4 「保存場所」「ファイルの種類」「圧縮率」を選択し、ファイル名を入力して［保存］を選択する

P.76「名前を付けて保存ダイアログ」

補正した画像が保存されます。

画像を貼り合わせる

複数の画像を貼り合わせて 1 枚の画像を作ります。
風景写真など分割して撮影した複数の画像のオーバーラップする部分を貼り合わせて 1 つの画像にすることができます。
貼り合わせには、選択した画像のオーバーラップする部分を自動的に検出して貼り合わせる方法と画面上で画像を重ね合わせて貼り合わせる方法の 2 種類の方法があります。

重 要

- **貼り合わせは、選択した画像が同一画像サイズでないとできません。画像サイズの異なる画像を指定した場合は、エラーになります。画像サイズは、サムネイル一覧でサムネイルを選択し、[ファイル] から [プロパティ] を選択すると確認できます。**

補 足

- 貼り合わせで表示できるのは、サムネイル表示されている静止画ファイル（WMF ファイルを除く）です。音声、動画ファイルは編集できません。
- 画像の色数が 16 色以下の場合、貼り合わせできません。
- 貼り合わせ可能な枚数は、2 画像から最大 16 画像です。
- 貼り合わせは、横一列で 16 枚まで、縦一列 4 枚まで、ブロック形（縦横 2 × 1、3 × 4、4 × 4 など）で 4 × 4 までの画像を貼り合わせできます。縦一列で 5 枚以上の画像を貼り合わせしたい場合、いったん横一列で貼り合わせしてから貼り合わせ結果を回転させてください。
- 貼り合わせる画像の色数、明るさをできるだけ合わせるようにしてください。色数や明るさの差が大きいと、精度が悪く、予想通りの結果が得られないことがあります。
- 貼り合わせる画像の重なり合う部分が少ないと、貼り合わせできなかったり、予想通りの結果になりません。

自動で貼り合わせをする

4 × 4 の画像枠上に貼り合わせを行う画像を配置し、配置された位置情報を元に自動で貼り合わせ画像を生成します。貼り合わせ位置と、貼り合わせ方法を指定します。

サムネイル一覧を表示して操作を始めます。

P.17「ImageTouch を起動する」
P.30「ファイルを選択する」

1 サムネイル一覧で Shift キーを押しながら、貼り合わせたい画像のサムネイルを選択する

P.19「サムネイル一覧」
P.30「ファイルを選択する」

2 選択したファイルを［貼り合わせ］上にドラッグする

貼り合わせ画面に選択した画像が表示されます。

3 「自動で貼り合わせ」を選択する

4 ［4 × 4］または［16］を選択する

［4 × 4］を選択すると、ブロック形、縦 1 列で貼り合わせます。左上の画像を基準に長方形、正方形になるように画像を配置してください。

［16］を選択すると、左上の画像を先頭に横 1 列に貼り合わせます。左上からすきまなく画像が並ぶように配置してください。

補足

・縦 1 列に 5 枚以上の画像を貼り合わせたい場合は、一度横 1 列で貼り合わせてから、貼り合わせ結果を回転させます。
・［拡大］を選択すると画像を拡大表示できます。また、画像を拡大すると貼り合わせ画面に表示される画像枠が減ります。
・［縮小］を選択すると、拡大表示した画像を縮小できます。また、画像を縮小すると、貼り合わせ画面に表示される画像枠が増えます。

5 貼り合わせ画像サイズを入力する

貼り合わせた結果、ここで指定した画像サイズを超えた場合は、全体を縮小して最大サイズ以下に変倍します。

補足

・貼り合わせ画面で画像枠を選択して［ファイル］から［開く］を選択し、画像ファイルを指定すると、選択した画像枠内に画像が表示されます。

補足

・「微調整して貼り合わせ」を選択して［次へ］を選択すると、手動で貼り合わせる画面に切り替わります。

6 ［編集］から［背景色］を選択し、補正した画像の背景色を選択する

背景色の設定は、あらかじめ黒色が選ばれています。必要に応じて設定してください。

P.92「背景色設定ダイアログ」

7 ［編集］から［オプション］を選択し、撮影に使用したカメラを選択する

ここで撮影に使用したカメラを選択して補正を行うと、カメラの特性に合わせた補正ができます。

P.93「オプションダイアログ」

8 ［実行］を選択する

貼り合わせが行われ、貼り合わされた画像が表示されます。

P.102「貼り合わせた画像を保存する」

手動で貼り合わせをする

マウスで画像をドラッグして移動し、貼り合わせ位置の微妙な位置調整ができます。指定された位置情報を元に、貼り合わせ画像を生成します。

サムネイル一覧を表示して操作を始めます。

P.17「ImageTouch を起動する」
P.30「ファイルを選択する」

1 サムネイル一覧で Shift キーを押しながら、貼り合わせたい画像のサムネイルを選択する

P.19「サムネイル一覧」
P.30「ファイルを選択する」

補足

・貼り合わせ画面で画像枠を選択して［ファイル］から［開く］を選択し、画像ファイルを指定すると、選択した画像枠内に画像が表示されます。

2 選択したファイルを［貼り合わせ］上にドラッグする

自動貼り合わせ画面に選択した画像が表示されます。

3 貼り合わせ方法で「微調整して貼り合わせ」を選択して［次へ］を選択する

手動貼り合わせ画面が表示されます。

4 画像のオーバーラップする部分が重なるように、画像をドラッグする

［拡大］を選択すると画像を拡大表示できます。

［縮小］を選択すると、拡大表示した画像を縮小できます。

5 貼り合わせ画像サイズを入力する

貼り合わせた結果、ここで指定した画像サイズを超えた場合は、全体を縮小して最大サイズ以下に変倍します。

6 ［編集］から［背景色］を選択し、補正した画像の背景色を選択する

背景色の設定は、あらかじめ黒色が選ばれています。必要に応じて設定してください。

P.92「背景色設定ダイアログ」

7 ［編集］から［オプション］を選択し、撮影に使用したカメラを選択する

ここで撮影に使用したカメラを選択して補正を行うと、カメラの特性に合わせた補正ができます。

P.93「オプションダイアログ」

8 ［実行］を選択する

貼り合わせが行われ、貼り合わされた画像が表示されます。

P.102「貼り合わせた画像を保存する」

貼り合わせた画像を保存する

自動または手動で貼り合わせた画像を保存します。

貼り合わせ画面に補正した画像が表示された状態から、説明します。

P.97「自動で貼り合わせをする」
P.100「手動で貼り合わせをする」

補足

- 貼り合わせた結果の保存形式として指定可能なファイルの種類は BMP、Exif2.1、JPEG、TIFF、PNG 形式です。
- 保存した画像の色数はフルカラーとなります。

1 画像の一部分を切り取って保存したい場合は［領域］を選択する

画像の全体を保存したいときは、この操作は不要です。手順 3 へ進んでください。

2 枠（ラバーバンド）のハンドル（■）をドラッグして保存したい部分を選択する

3 ［保存］を選択する

［名前を付けて保存］ダイアログが表示されます。

「保存場所」「ファイルの種類」「圧縮率」を選択し、ファイル名を入力して［保存］を選択する

P.76「名前を付けて保存ダイアログ」

貼り合わせた画像が保存されます。

TWAIN 対応機器から画像を読み込む

> **重 要**
> ・お使いになるTWAIN 対応機器のドライバが正しくインストールされていることをご確認ください。

TWAIN 対応の入力機器（スキャナやデジタルカメラなど）から画像ファイルを読み込みます。

TWAIN 対応機器を選択する

使用する TWAIN 対応機器を選択します。

ImageTouch を起動した状態から操作します。

P.17「ImageTouch を起動する」

1 ［ファイル］から［TWAIN 対応機器から取り込み］を選択し、［TWAIN 対応機器の選択］を選択する

［ソースの選択］ダイアログが表示されます。

2 使用する TWAIN 対応機器を選択して、［選択］を選択する

TWAIN 対応機器が選択されます。

TWAIN 対応機器から読み込む

> **重 要**
> ・TWAIN 対応機器からの取り込み時に指定できるファイルの保存形式は、BMP、JPEG、EXIF2.1、TIFF、PNG 形式です。

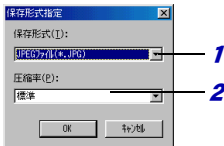
TWAIN 対応機器から画像を読み込みます。

1 ［ファイル］から［TWAIN 対応機器から取り込み］を選択し、［TWAIN 対応機器から入力］を選択する

［保存形式指定］ダイアログが表示されます。

2 入力する画像の「保存形式」、「圧縮率」を選択して、[OK] を選択する

TWAIN 対応機器から指定した保存形式で画像が読み込まれます。

保存形式指定ダイアログ

1 保存形式

保存するファイル形式を選択します。
「BMP、JPEG、EXIF2.1、TIFF、PNG」から選択します。

2 圧縮率

保存形式「JPEG ファイル」の場合

「標準」「圧縮率優先」「画質優先」から選択します。

保存形式「PNG ファイル」の場合

モードは 「ノンインターレース」「インターレース」から選択します。
「インターレース」で保存すると、インターネットやオンラインサービス上で、ブラウザに PNG ファイルを表示する場合、きめの粗い画像から段階的にきれいな画像に変わります。

保存形式「BMP」「TIFF」の場合

圧縮率は設定できません。

保存形式「EXIF2.1 ファイル」の場合

圧縮率は「ノーマル」「エコノミー」「ファイン」から選択します。